

2006年11月26日

## Group 2

### 環境改善のモチベーションを向上させるための方法

#### グループメンバー

Xiuli	ZHENG
Kamilya	RUDAKOVA
Chisato	IHARA
Chuan	LI
Yang	SHEN
Masaru	KAWABE
Yuuki	YUASA
Satoru	HUSE
Mariko	SETO
Jun	WANG

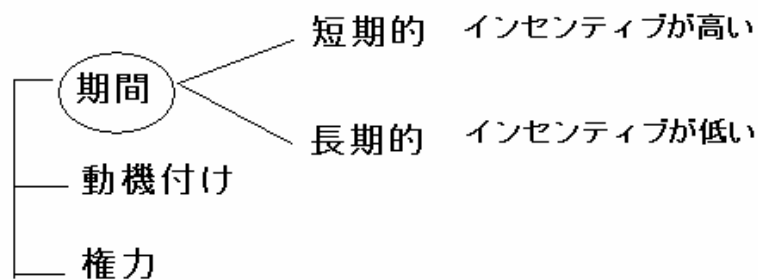
我われグループ2はレポートのテーマとして「環境改善のモチベーションを向上させるための方法」を取り上げて話し合いました。

環境問題を解決する上で重要な問題は国家、市民そしてNPOそれぞれがアクションを起こすモチベーションをどのように作り出すかです。どんなに環境問題の解決を訴えても、行動する動機がなければ、何も始まらないです。いかに国家、市民、NPOが環境問題のアプローチできるか、それぞれの役割について考えました。

- ① **立法** — 変化を作り出す効果的な方法は法律やルールを作ることです。国、企業、市民、みんなが守らなければいけないルールが環境問題では強力な武器になります。環境税や罰金制度を取り入れるなど。
- ② **政治への働きかけ** — 法律やルールを作る政治に投票するとき、その候補者は環境問題をどう考えているのだろうか？ こうした疑問を持てることが最初の一步になります。
- ③ **人事評価** — たくさん買うよりも無駄を削る。節約する。そんな地球に優しい仕事をした人をきちんと誉めてあげられる人事評価が企業を国を、そして市民を変えていくのではないのでしょうか。
- ④ **情報開示** — 国の環境政策を透明化し、環境問題への取り組みや成果の情報をオープンにすることによって政府と国民が同様にフィードバックすることによって問題意識を向上させる目的がある。
- ⑤ **研究者** — 研究者は国や企業、ひいては市民にデータを供給するという重要な役割を担う。例えば、5年後に琵琶湖が枯渇して使えなくなるだとかそういった基本的な情報発信の一番の根源の担い手である。
- ⑥ **NGO・NPO** — 環境教育の場を主催して市民の意識向上を図る。自治体・研究員・他地区（他国も含む）の市民とのコミュニケーションを中心とした協働により、資源保全への様々な活動を綿密、且つグローバルに行う事が出来る。
- ⑦ **企業から市民へ** — 企業が、環境改善のCMを作って流すこと。特に、自分や自分の子どもたちに与える悪影響をよりリアルに、その弊害を強調して克明にえがきだすことで市民への危機感を煽る。

モチベーションを上げる方法としては上で提示したようなことをします。④と⑦の例を使うと、テレビで環境問題についての取り組み、資源の再利用や再資源化などの活動をCMなどの放送することによって、市民の人たちに環境問題の現状を知ってもらうことが目的です。

## モチベーション論



### 環境から見る期間

ここでは活動の期間が短期的と長期的に分かれています。なぜかというとな長期的な活動では、目に見えにくいためその活動に対する意欲の持続が困難になりますが、活動が長い分市民が成長しボトムアップにつながります。それとは逆に短期的な活動では、効果がすぐに出てくるので必要なインセンティブにつながります。

### 動機付け

目標の達成により得られるメリットをはっきりさせる事によって、目的意識を高めるのが狙いです。例えば、工業排水の浄化システムを完備したとします。そうすることによって、川に流れる汚染物質が減り川がきれいになります。そのことにより汚染された魚を食べなくてすみ、人の体に害を与えなくなります。このように動機付けを行うことにより、その取り組みに対する意識を高めます。

### 権力

あまりにも集権的なやり方（立法など）をした場合、人々は環境保護を考えなくなってしまいます。なぜかというとな、命令に従ってばかりでは自発的に行動するという機会が無くなるからです。それとは逆に分権的なやり方（講演会やCMなど）をした場合、人々の間に環境保護についての共感を形成することができます。 例え、講演会

などの場を作って、そこに参加してきた人々の間に共感を形成させれば、人々のインセンティブとしての自主性が出てきます。

## 糸吉 論

この4日間にわたる私たちの議論の中でのキーワードは環境対策に向けて行動する「モチベーション」をいかに作るのか、ということでした。国家も企業も市民も環境問題の重要性を指摘されるだけではなかなか行動できないのが実情だからです。

環境問題はグローバルな問題であり、この地球やこの国に住む人たちすべてに関係のある問題であることは理解できても、国家や市民が環境を意識した行動を取れないことが多いと思います。

環境問題に対するモチベーションの問題をいかに乗り越えるか。

私たちが議論の末にたどり着いた結論は「市民が国家に働きかけていく」ということと、「研究者やNPOが国家や市民に情報発信していく」ことのふたつでした。

市民から国家、国家から市民の双方向のやり取り、そしてNPOから国家、市民への情報伝達が、環境問題に対するそれぞれのモチベーションを高めることを助けると考えました。

そしてその方法や明日からでもすぐに始められることばかりです。環境問題に対するモチベーションの問題はいつもそこにある問題ではあることは事実です。しかしその問題への解決策は決して難しいことではなく、私たちの中にあるものです。